

2025年度後期 開講学部別集計結果表

常葉大学短期大学部

開講学部	保育科
------	-----

履修者数	1,157
------	-------

回答者数	739
------	-----

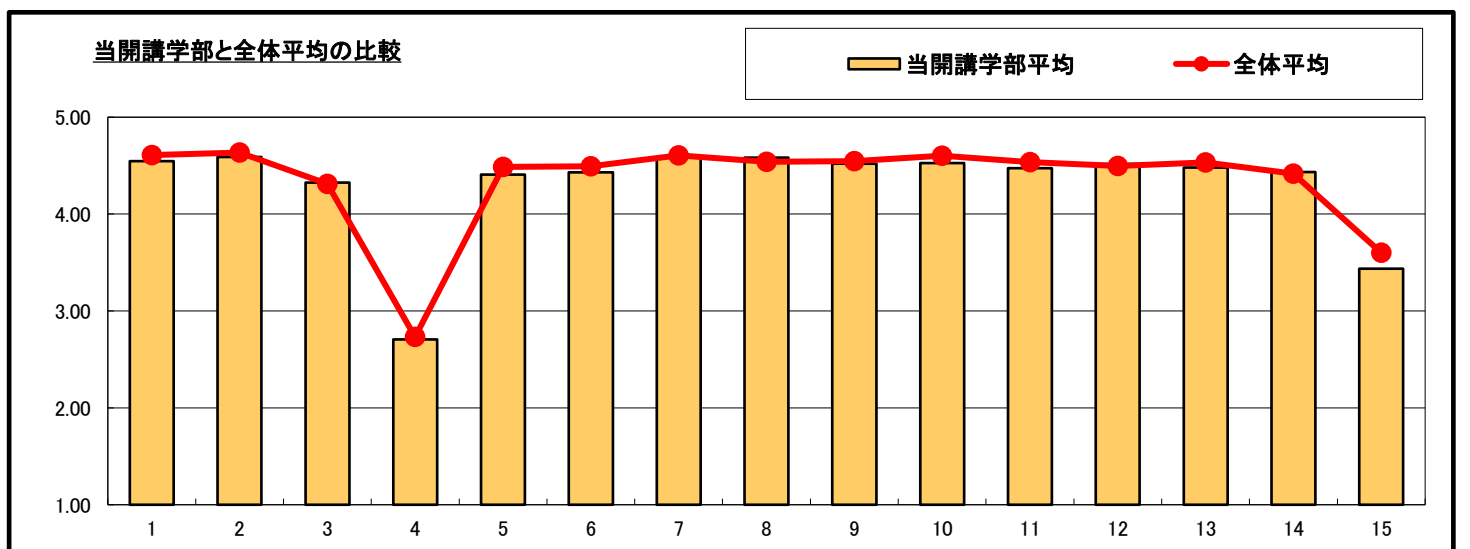
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	433	306	0	0	0
	58.6	41.4	0.0	0.0	0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.55	434 58.8	277 37.5	24 3.3	3 0.4	0 0.0	738	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.59	464 62.9	247 33.5	25 3.4	2 0.3	0 0.0	738	1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.32	344 46.5	306 41.4	75 10.1	12 1.6	2 0.3	739	0

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.71	2時間以上 76 10.3	1時間以上 2時間未満 118 16.0	30分以上 1時間未満 225 30.5	30分未満 152 20.6	全くして いない 167 22.6	738	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.41	382 51.8	279 37.9	71 9.6	4 0.5	1 0.1	737	2
6	この科目の難易度は適切であった	4.43	390 52.8	288 39.0	50 6.8	11 1.5	0 0.0	739	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.59	470 63.7	233 31.6	35 4.7	0 0.0	0 0.0	738	1
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.58	467 63.4	235 31.9	32 4.3	3 0.4	0 0.0	737	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.52	448 60.7	239 32.4	40 5.4	9 1.2	2 0.3	738	1

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.53	446 60.4	242 32.7	46 6.2	4 0.5	1 0.1	739	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.47	423 57.5	252 34.2	52 7.1	5 0.7	4 0.5	736	3
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.52	437 59.5	251 34.1	36 4.9	11 1.5	0 0.0	735	4
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.48	429 58.2	247 33.5	50 6.8	7 0.9	4 0.5	737	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.43	402 54.6	266 36.1	55 7.5	11 1.5	2 0.3	736	3
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.44	十分に 読んだ 163 22.1	よく読んだ 213 28.9	どちらとも いえない 204 27.7	ほとんど 読まなかった 94 12.8	全く読んで いない 62 8.4	736	3



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	短期大学部保育科
講評者	保育科長 遠藤知里

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学習環境については、設問 1 と 2 は 4.5 以上の高評価であった。「3. 周りの学生の熱意が感じられた」についてはやや低評価であるが、4.0 以上であり、内容的には十分である。ただ、細かく見ると、一部の低評価学生（多くの項目についてネガティブ評価を返している学生）の存在が想像される。このような学生の声も受け止め、学科として学習環境の向上に努めていきたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	短期大学部の全体平均との比較において、「8. この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った」については、保育科が上回る結果となった。保育科学生はキャリア形成（資格免許の取得、保育職への就職）に対する目的意識が高く、それゆえに授業において高度な専門性を伝達していることを、学生自身がよく受け止めていることの表れと考えられる。一方、「5. シラバスの内容に即した授業が行われていた」「6. 授業の難易度は適切であった」については、わずかであるが保育科が全体平均を下回っている。このような学生の声を「伸びしろあり」のメッセージと受け止め、学科として授業内容の向上に努めていきたい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	短期大学部の全体平均との比較において、「10. 教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった」「11. 板書、スライド、配布資料等は適切であった」「13. 学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた」については、わずかであるが保育科が全体平均を下回っている。このような学生の声を「伸びしろあり」のメッセージと受け止め、学科として教員個々の授業力向上に努めていきたい。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	